

ひがしの

平成6年10月15日

No.42

発行 東野公民館

東野歌舞伎公演

11月6日 午後1時開演
ところ 小学校体育館



東野文化祭

11月5日 9時～5時
6日 9時～4時
ところ 東野公民館

文化祭の開催にあたって

東野文化祭実行委員長 篠原佳昭

今年は異常気象で真夏日が一月余り続きましたが、それでも朝夕はめっきり涼しくなり秋らしくなりました。また水不足などありましたがお蔭様で米も豊作となり、心配していた台風二十六号も当地ではたいした被害もなく嬉しく思っております。

つきましては、公民館を中心に地域のふれあいを深め、明るい郷土、家庭作りを目的として東野文化祭を開催いたします。

皆様方が日常趣味で作っておられるもの、趣味で集めておられるものなど、何でも結構です。自分の得意な分野で文化祭に参加、協力いただけたらと思っております。

公民館活動は皆さんが気軽に立寄って仲間作りやふれあいづくりの場所としていただくことが活動でありますので文化祭には是非公民館に足を運んで下さいますようお願い申し上げます。

東野の村芝居

(W生)

東濃地方は、全国的にも昔から地芝居の盛んなところとして名が通っています。なかでも東野は格別評判が高く、江戸時代の末頃村の庄屋であった伊藤家日記に、芝居見物には近隣の町村からも親類縁者がやって来て賑わったことが記されています。

東野の村芝居は、八坂神社の秋の祭礼に、氏子が余興として神前に奉納したことからは始まったようです。八坂神社の社殿と拝殿の間には平らな石を敷き詰めた石畳が残っていて、そこが見物席であったと、昔、古老の岡本又吉さんから聞いた覚えがあります。

そうした素朴なお祭りの余興であった素人芝居が、江戸時代末の嘉永年間に、村民の熱意と多額の寄金で八坂神社の麓に「恵東座」という芝居小屋が

出来た頃から、益々隆盛に向い、村の大衆的な舞台芸能としての形と内容を整えるようになりました。

その後、明治・大正・昭和と全盛期を迎え、舞台近くの伊藤さんの家では、歌舞伎の振付師と衣裳の貸付を副業とされるまでになり、地町村から「東野の芝居」と称して一目も二目もおかれるほどに成熟しました。

このように、東野で地芝居が村唯一の伝統的な農村民俗芸能として栄え、長く伝承されてきたのは、他にこれと言って独自の祭り行事や娯楽的土着芸能をもたなかったことや、養蚕が盛んで村全体が比較的豊かであったからではないかと思えます。逆に、あまりに芝居が村民娯楽の中心として盛んであったから、他の民俗芸能が生まれ育たなかったのかも知れません。

村芝居の拠点「恵東座」は、がっしりとした樫の太い柱や長い梁が見事で、見物席は一階と二階の桝席、舞台は廻り舞台やせり上げを設け、花道にもスッポン（せり上げ）を備えた、当時の芝居小屋としては近隣にない立派なものでした。私がまだ小学生であった昭和の初期の時代に、そこで演じられた芝居の外題は、先代萩・忠臣蔵・太閤記・義経千本桜・ひらがな盛衰記・鎌倉三代記・神霊矢口ノ渡等々であったような気がします。どの家にも芝居見物用の割り子の重ね弁当箱があり、その弁当を食べるのが又芝居見物の大きな楽しみでもありました。

秋祭りの二日間の芝居が終ると、村の大人は稲刈りにかかる習わしでしたが、小学校では暫らくの間腕白小僧たちの芝居の真似が続きました。そして、その子ども達が又次の世代の役者として育っていったわけです。歌舞伎独特の誇張された演技の幻惑的でおどろお

どろした舞台のイメージは、テレビのなかった当時の子どもには刺激の強い印象であったと推察します。

昭和初期に活躍された村の役者衆としては、伊藤豊・渡辺忠兵衛・渡辺金之進・渡辺眞四郎・伊藤桑造・西尾要一・千藤恩三・西尾一郎・長谷川弘毅・三宅伍一・伊藤寛一等諸氏（故人）の名を思い浮かべることができますが、まだ他にも幾人かあったと思います。いずれも芸達者な名優ぞろいで、その舞台姿が今でも脳裏に浮かんできます。かように、古くから村の先人たちがその芸を磨き、ふる里唯一の伝統的な民俗芸能文化として、華やかに誇り高く伝承してきた東野歌舞伎でしたが、それも、戦中戦後の激しい時代の波に勝てず、さしもの舞台も荒廃して解体され、急速に衰亡の運命をたどることになりました。

ところが、最近、戦後の物質的繁栄一辺倒から潤いのある心豊かな生活志



東野青少団歌舞伎公演（昭和35年頃）

向の世相となり、古きよきものが再び見直されるようになってきました。そうした世の気運のなかで、東野でも、心ある人たちにより「東野歌舞伎保存会」が発足し、亡びの寸前にあった村芝居が久々に息を吹き返しました。

自前の村芝居に村民こそって打ち興じ、和楽のうちにふる里愛着の心の絆を温め合うことができるなら、こんな嬉しいことはないと思います。

平成六年度 前期

ふるさと文化行事報告



さつき展

六月一日～六日

さつき盆栽愛好者の方々の協力により約四十鉢を展示し、老人クラブの方や講座生など多くの方が美しい花を觀賞しました。

家族映画会

七月二十一日

「オバケちゃん」を上映。

オバケたちが開発から自分たちの森をまもるために、あれやこれやと頑張る姿がほのぼのした作品でした。笑ったり、ときにはほろりとしたり家族でたのしい一時を過ごしました。

夏休み子ども映画会

八月九・十・十一日

気軽に映画が楽しめる様に、子どもたちのプールが終る三時からビデオプロジェクターを利用して「うかれヴァイオリン」や「ルーシの挑戦」などを上映しました。

環境美化住民活動

七月十七日

恵那市まちづくり市民運動の一貫として、各主団体や住民が力を合わせて、空き缶やゴミ拾いを行いました。



オバケちゃん

東野夏祭り

八月六日

東野音頭や炭抗節などで大人も子供も一つの輪になり、たのしく踊りをしました。また、ウルトラクイズと双六ゲームを組み合わせたふるさとクイズや大須演芸場の芸人さんによる漫才、ものまねなどで、ふるさとの夏まつりを満喫しました。



東野敬老会

今年も九月十五日、東野敬老会が盛大に開催されました。
心からお祝いを申し上げます。



東野で75才以上の方は141人で、その内69人の方が出席されました。



東釣会から焼鮎のプレゼントがありました。

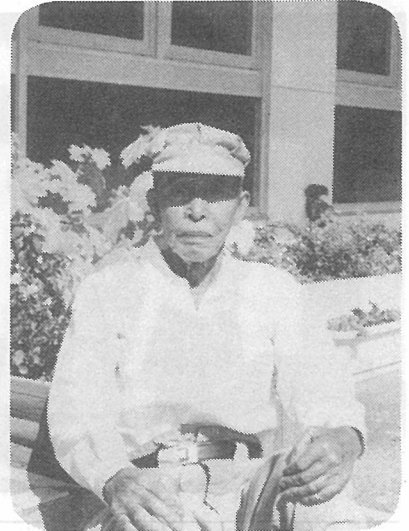


小学生や同好会の方の踊りや大正琴などが披露されました。
(写真は大井栄舞)

ただ今
89才

歌舞伎役者参上

千 藤 幸 男 さん



Q：千藤さん、今おいくつですか
千：八十九才さのお。

Q：楽しみは何ですか

千：楽しい事は、野菜を作る事やのお。

おじさんの野菜は安いし、新鮮や、と云って皆が待っておっておくれるもんで作って行かんならん。

Q：毎日行ってみえますか

千：毎日じゃあない。三日に一ぺんくらいやけどの。

Q：それが健康の秘訣ですか

千：そうやのうー。健康の秘訣は、決まっ

た時間に寝て、決まった時間に起きて、御飯は好き嫌いなくおいしく食べることやないかの。先日NHKのテレビで山梨県の百三才のおばあさんが、「健康の秘訣は、良く寝て、良く食べて、良く働くことや」と云っておらしたけど、本当にそうやと思う。わしは、夜は七時のニュースを見たら寝るし、朝は七時には御飯をいただいて、そして一服する時に新聞を隅から隅まで読んじやうに。

Q：千藤さん目はいいですか

千：そうやのー、読む時は眼鏡はかけるに、そやけど明るい所でなら眼鏡なしでも読める。

Q：今回、歌舞伎に出られるそうですが

千：イヤー、その時までないしよにするつもりやったが、電話がかかって来て、息子が受けたもんで「なんや、親父さ、狂言に出るの？」なんてバ

レちゃてのー。館長さんが来ておくれた時に「折れは子役か女形がやりたい」と云ったけどよい、ワッハハハ、今年は丁度いい役がなかったげなわ。今度出る役は取り手の役で、十手を持って「ヤアヤアヤアヤア」と、皆んなを笑わせに出るだけさの。

Q：昔もやってみえましたか

千：そうさのー。四十年も五十年前も前、

女形をやったことがあるに。それが、てんきりへたでのー、どこでも歌舞伎が流った頃での、東野でも恵東座で盛んに芝居をやった頃のことやけど、大井の大映座で葵の局の役をやったら「あれほどへたな女形はない」と面を向かって云われて、あれは、浄留離の文句に「葵の局は御座の苦しみ」というくだりがあって、「手前が苦しゅうてたまらん時に、そんない格好出来るもんか」と云ったところさ。

八十九才で芝居に挑戦をされる千藤さん。元気いっぱいにお話をして下さいました。

花無山俳句会

栗剝いて刻を忘れる余生あり
 根が浅く蚊帳吊草は抜き易し
 我よりは何歳うえかな大棗
 向日葵の太鼓のふちの花弁落つ
 稜線に汗を拭きつつ秋を見る
 炎暑には負けず自炊で鮎の粥
 廃屋の庭の広さや葛の花
 糲摺りの賑う夜業場刻忘る
 定年の夫蟪蛄にあそびをる
 きりぎりす鳴かで髭振るばかりなり
 室弥陀のうしろ明るき揚羽蝶
 まいこみしとんぼ出口見つからず
 大千魃ダムの底なる旧き街道
 水を張る漬物桶や今朝の秋
 似合うても似合はなくても麦藁帽

鈴木抱風子
 全 伊藤公道
 丸山瑞月
 足立いさむ
 千藤恵三
 伊藤靖代
 伊藤道子
 鷹見美佐江
 西尾美恵子
 西尾筍子
 松本はるか
 市川芳子
 加藤裕子
 長谷川弘子

お知らせ

・写真集『花ひらく恵那』（3月発行予定）
 の予約受付をはじめました。また、野の花写
 真集『花ひらく恵那』の絵はがき（400円）
 発売中です。

申し込みは、公民館または文化振興会まで。

・東野おやこ劇場では、11月12日（土）午後
 1時30分から東野公民館で劇団「なんじゃも
 んじゃ」の公演を行います。



東野公民館ふれあい講座の予定

日 時	講 座 名	内 容	備 考
12月 17日(土) 午後1時 から	寄せ植え盆栽(1回)	松や梅などを使って正月用の盆栽をつくります。	・講師：中村暢之氏、他 ・場所・日時：東野公民館駐車場 (雨天 公民館大会議室) ・材料代、受講料 6,000円 ・松、梅、福寿草、苔、砂、鉢など材料は当方で用意します。
1月～	ビデオ講座 健康と食事(3回)	病気を予防するためにビデオと栄養士さんの話で健康管理について学習します。	健康と食事の詳しいことは、後日に募集要項でお知らせします。

ふるさと図書館

親子で本を読みませんか。

稲刈りもおおかた終り、時間にもゆとりができてきました。ときには、子供と一緒に本を読んでみてはいかがですか？

子供は、私たち大人にないすばらしい感性をもっています。親子であるいはお孫さんと泣いたり笑ったりしながら本を読むことで新たな感動が生れるかもしれません。

公民館ロビーのふるさと図書館や図書室には幼児向けから大人向けの本までいろいろな本がそろっています。

ぜひ、ご利用下さい。

むらさき

昨年(8)は夏の間水不足で随分心配をしましたが、米は全国的にも豊作になりました。水の尊さを知り、食のありがたさを感じたこの頃です。自然の恵みに感謝といったところでしうか。

編集後記

